

平成26年度 動物実験実績

(対象期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日)

1 動物実験計画書

申請件数	審査結果					申請者による 申請取下	終了件数
	承認	条件付承認	変更の勧告	不承認	審査対象外		
21	10	0	9	0	0	2	21※

※終了件数には、平成25年度以前に承認され、終了した実験計画を含む。

2 使用実験動物数（匹）

マウス	ラット	シアンハムスター	ラビット	ウシガエル
639	371	80	5	16

3 動物実験施設利用者数

施設名	延べ利用者数
広島キャンパス 地下動物実験室	495
庄原キャンパス 4号館7階 動物飼育室	1,052
庄原キャンパス 5号館5階 動物実験室/飼育室	518
庄原キャンパス FSC 家畜解剖実験棟 動物実験室/飼育室	2,680
三原キャンパス 動物飼育室	1,797
合 計	6,542

4 成 果

研究論文	著 書	学会等発表	博士論文	修士論文	卒業論文	学生実験
11	0	28	2	12	24	5

5 教育訓練

実施日	受講者数	教育内容
H26.4.8	3	県立広島大学実験規程及び実験動物飼養保管施設標準操作手順書等を説明。(研究室の学生を対象としたもの)
H26.4.11	60	動物実験の倫理規則，飼育管理に関する基礎知識の説明。 マウスの灌流固定，臓器摘出等の基本操作の実習。 動物舎でのマウスの飼育管理方法，手順の説明および実習。 (振替：生命工学実験Ⅰ)
H26.4.14	10	動物飼育・実験における動物の扱い方，世話の仕方等の講義・講習。動物実験の手技に関する基本的な指導(個別の手技については別途実験の開始前に指導)。実験後の衛生管理等の講習。 (研究室の学生を対象としたもの)
H26.4.14	58	関係法規・指針及び本学の規程等の説明，動物実験に関する基礎知識，動物実験の飼育・保管に関する事項及び安全管理に関する事項等
H26.5.12	17	研究室の学部生，大学院生を対象に，実験動物舎の使用方法的説明，飼育方法，ゲージの掃除方法，ホルモン投与，実験動物の保定方法等を説明し，実技を実施した。基本的な実験動物操作の習得を実施した。(研究室の学生を対象としたもの)

実施日	受講者数	教育内容
H26. 5. 28	15	ペットや動物舎以外の動物に触れない生活のための心得，入室の心得，動物施設の構造理解，動物の扱い方，無菌飼育（准 SPF）のための無菌操作の基礎，無菌飼育の実際，無菌的ケージ交換と床交換の仕方，個体識別と管理方法や飼育ノートの付け方，滅菌処理と廃棄（研究室の学生を対象としたもの）
H26. 5. 29	15	実験に供するマウスの扱い方，マウスとハムスターの麻酔の仕方と解剖方法，解剖実験の実際，臓器摘出のやり方と担癌臓器のマクロでの見分け方，摘出組織から DNA，RNA，蛋白質を無菌的に採取する方法の実際，実験ノートの付け方，飼育スケジュール管理方法（研究室の学生を対象としたもの）
H26. 6. 6	4	関係法規・指針及び本学の規程等の説明，動物実験に関する基礎知識，動物実験の飼育・保管に関する事項及び安全管理に関する事項等
H26. 6. 20	4	関係法規・指針及び本学の規程等の説明，動物実験に関する基礎知識，動物実験の飼育・保管に関する事項及び安全管理に関する事項等
H26. 7. 8	12	研究室の学部生を対象にマウス，ハムスターの基本的な実験手技，麻酔方法等の実習を行った。実験動物の使用に関する実験計画の方法を説明した。（研究室の学生を対象としたもの）
H26. 7. 10	1	関係法規・指針及び本学の規程等の説明，動物実験に関する基礎知識，動物実験の飼育・保管に関する事項及び安全管理に関する事項等
H26. 7. 15	5	関係法規・指針及び本学の規程等の説明，動物実験に関する基礎知識，動物実験の飼育・保管に関する事項及び安全管理に関する事項等
H26. 8. 8	3	関係法規・指針及び本学の規程等の説明，動物実験に関する基礎知識，動物実験の飼育・保管に関する事項及び安全管理に関する事項等
H26. 10. 3	3	県立広島大学実験規程及び実験動物飼養保管施設標準操作手順書等を説明。（研究室の学生を対象としたもの）
H26. 12. 10	6	関係法規・指針及び本学の規程等の説明，動物実験に関する基礎知識，動物実験の飼育・保管に関する事項及び安全管理に関する事項等
計 16 回	計 216 名	